

毎月15日までの会費納入に、
ご協力をお願いします。
会計 山崎 孝亀

春日井民商だより

春日井民主商工会発行

TEL 0568-81-1482

FAX 0568-81-9756

http://kasugaiminsyo.st1.jp



市民本位の市政実現求め交渉

11月26日 春日井市交渉を行いました



春日井市から回答を受け取る森山会長(左)

11月26日(金)、春日井市交渉を行い、各支部から会員20名が参加しました。市側は6つの部局から課長ら8名が参加。日本共産党春日井市議団3名も参加しました。

認知度の低い「つかエール」商品券ではなく、中小自営業者が真に潤う制度の創設を

新型コロナウイルス感染拡大に伴う要望を中心に質疑が行われ、国の支援金・県の応援金の対象とならない事業者へ市独自の「支援金」創設を要求しましたが、市側の回答は「春日井応援券つかエール事業を実施している」「市独自に支援金を創設する予定はない」というもの

でした。しかし、「つかエール」について、多くの人が存在すら知らないことについては、「広報やフリーペーパーで案内している。それ以外に周知させる方法があればこちらが教えてもらいたい位だ」という不誠実な回答でした。

民商が毎年要望している住宅リフォーム助成についても、「つかエールはリフォーム業者も参加しているから一定の成果を上げている」という回答で、これには「つかエールは各店舗5万円までしか購入できず、リフォームに使えるような金額でない。そもそも制度設計がおかしい。回答になっていない」との声が上がりました。

国保減免制度の改善要求には「全国市長会が基準見直しを国に要求」

国保減免については、非課税世帯が対象外となっていること、比較年度が前年のみという扱いを改善するよう要求しました。回答は「国の動向を注視」としながらも、全国市長会が国に「基準の見直しを要求している」というものでした。

また、県の協力金を受け取った飲食店は、協力金が2021年の売上に加算されるため、所

得が大幅に上がり、国保の減免基準となる前年所得400万円以下から外れる可能性が高く、2022年は売上・所得とも減少する見込みでも国保の減免対象から外れるので、減免対象を引き上げることが要求しました。

このほか、会員から「带状疱疹の予防接種は他自治体では助成がされているところもあり、春日井市でも助成をしてほしい」という要望が出され、これについては後日回答が出来ます。

春日井民商では、今後も市民の実情を知らせ、市民の立場に立った施策を実現させるための運動を強めていきます。

豪華海鮮料理と日間賀島散策を楽しみました



11月28日(日)、毎年大人気の共済会バスハイクを開催し、45名が参加しました。

当日は雲一つない晴天に恵まれ、まずは常滑のめんたいパークとセラモールでショッピングを楽しんだ後は、師崎に移動し豪華海鮮料理のランチに舌鼓。その後、船で日間賀島に渡り、食べ歩きを楽しみました。最後に美浜町の「魚太郎」に立ち寄り春日井に戻りました。

参加者からは、「料理が食べきれないくらい豪華で良かった」「天気も良く買い物も楽しめて良かった。今から来年も楽しみにしています」などの感想がありました。

美味しい日高昆布はいかがですか

値段は昨年と同じです。

- こんぶ(大・500g) 2,500円
- こんぶ(小・200g) 1,200円
- 根こんぶ 2,400円

